

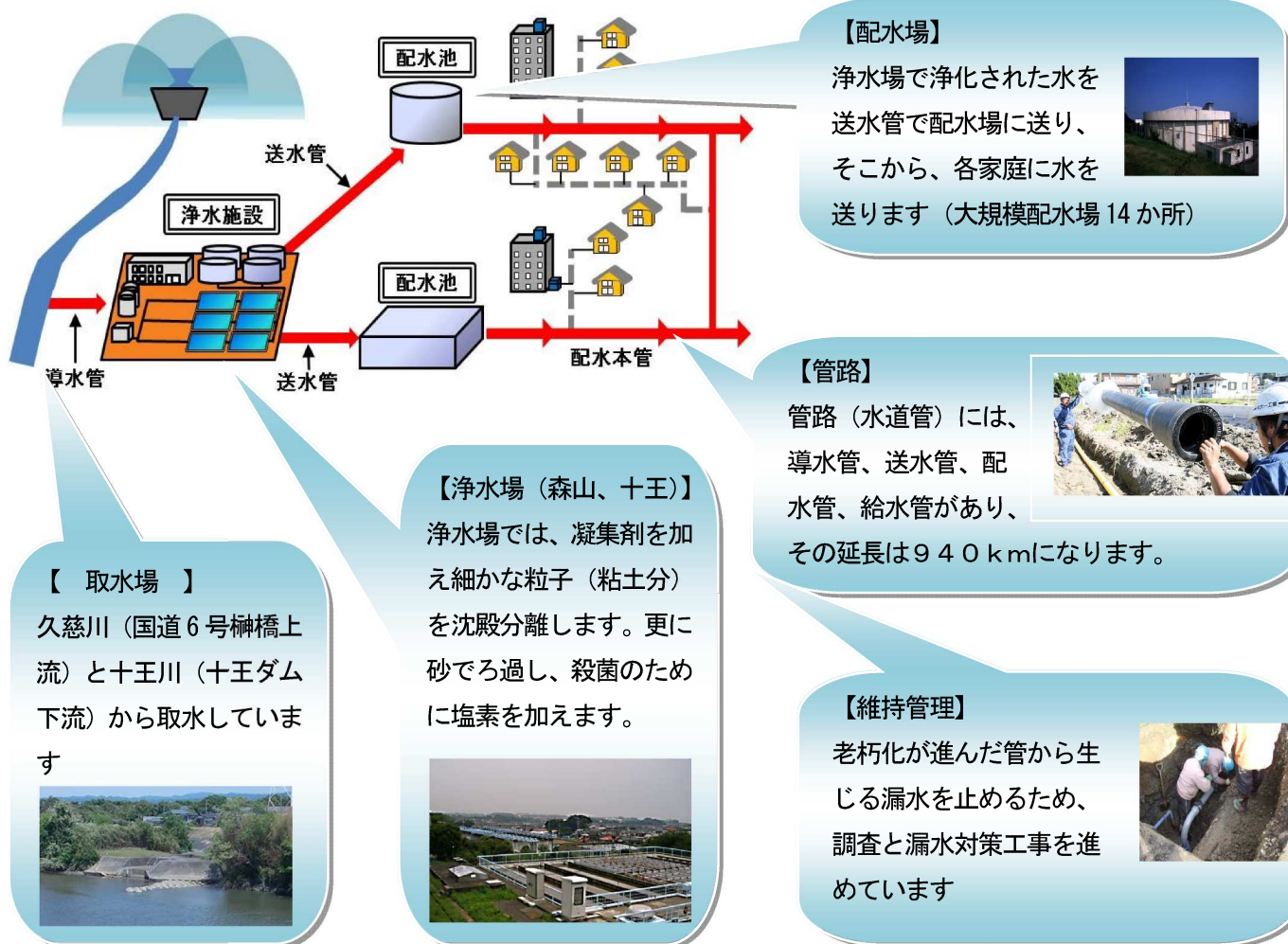
日立市企業局だより

とどけます 安全で おいしい水を 未来まで



日立市企業局の事業を紹介します

日立市企業局は、水道事業、下水道事業、工業用水道事業を行っています。今回はその中から水道の仕組みについてご紹介します。

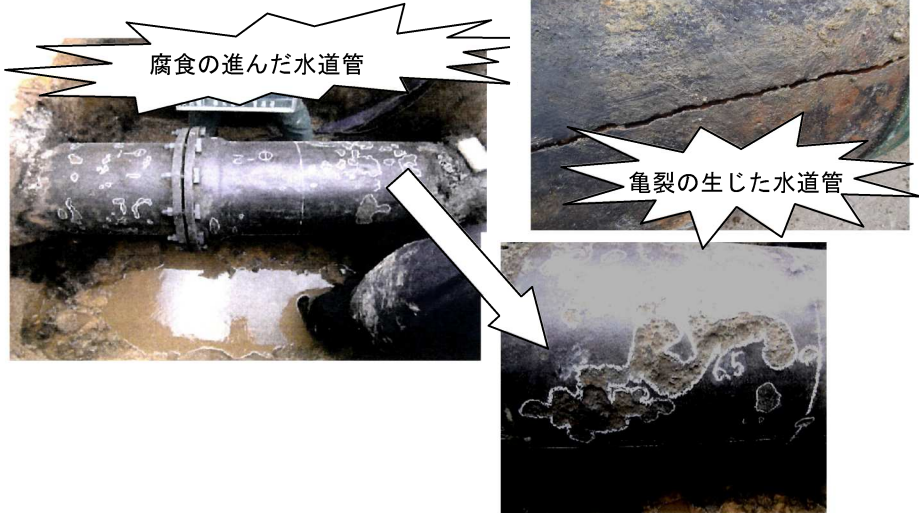


水道施設の更新事業に着手します

日立市の水道施設は、古いものは設置してから半世紀が過ぎており、老朽化が進んでいます。
 また、先の東日本大震災では、管の破損事故で10日間の断水を招き、市民の皆様には大変ご迷惑をおかけしたところです。企業局では、これらの反省を踏まえ、今般、水道水の安定供給を持続するため、老朽施設の更新と耐震化を柱とした「水道施設更新計画」を策定しました。

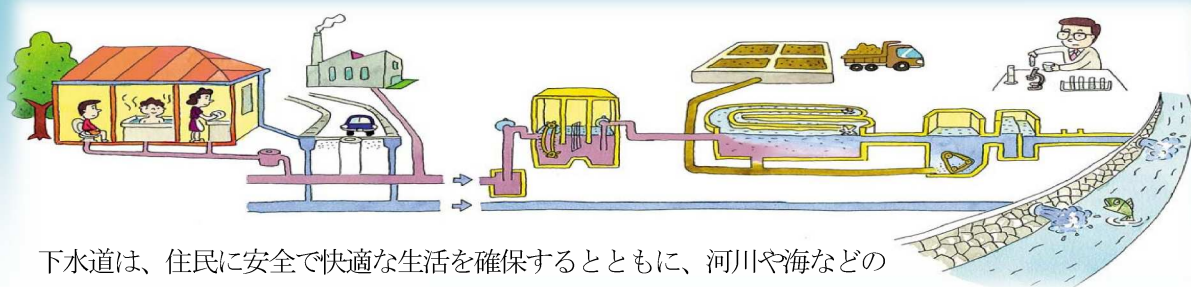
その内容は、老朽化の著しいものから順次、耐震性の優れた水道管（耐震管）に取り換えるものであり、当面、第1期事業として、平成25年度から39年度まで、15カ年の工事（延長、約17.5 km）を予定しています。（工事箇所は、下の事業計画図を参考にしてください。）

※この図は幹線管路のみ表示してあり、この他にも一般の配水管工事も行います。
 ※十王川系の管路の更新は、第Ⅱ期（平成40年度～）以降に行う予定です。



久慈川系 十王川系

下水道フェアを開催します



下水道は、住民に安全で快適な生活を確保するとともに、河川や海などの公共用水域の水質保全や、降った雨を速やかに川に流すなど、重要な生活基盤施設です。企業局では、下水道への理解を深め、関心を高めていただくため、「2013 日立市下水道フェア」を、池の川処理場（東成沢町）で開催します。

下水道施設見学ツアー、最新下水道技術の紹介、ゲリラ豪雨体験、そして、新鮮野菜の即売などご家族連れで楽しめるたくさんのイベントを用意して皆様のご来場をお待ちしております。

また、市内小中学生による茨城県下水道促進週間コンクールの応募作品展示(ポスター)を行います。

日時 9月7日(土)：9時30分～16時

8日(日)：9時30分～15時

コラム 水臭い話

人間の体の60%は水でできていて、水は体にとってとても大事なものです。

1%水分が不足しただけで、猛烈な喉の渇きを覚えると言われてます。

もし1日水を飲まないでいると、体の中の約2.5%の水分がなくなり、脱水熱という熱が出、さらに進むと幻覚症状が現れます。この時、体の中のナトリウム、カルシウムなどのバランスが悪くなり、限度を超すと、死にいたりします。これが脱水症状による死です。

脱水症状は、小児の場合で5%ほど不足すると起こり、成人では2~4%不足すると、症状があらわれはじめます。



このように命の源である水ですが、人間が使える水は、ごくわずかなのをご存知でしょうか。ご存知のように、地球は表面の3分の2が水に覆われています。宇宙空間に浮かぶ地球の写真はまさに「青く輝く水の惑星」であり、水不足には縁がないように思われがちです。ところが地球表面にある水の97%までは海水なのです。

海水は飲料水にも生活水にもまったく適していません。つまり地球上の56億人の人間が、地球上の3%の水に頼っているのです。

この3%の水も、水蒸気や、地下深くに潜む伏流水や地下水、南極や北極の水や雪など、ほとんどは現実に使用不可能な状態で存在します。

これらを差し引くと、人が直接使用できる水は、全体のたったの0.0001%に過ぎないのです。



本紙に関するご意見・ご感想は、日立市企業局上下水道部総務課までお寄せください。

TEL 0294-22-3111 内線 495

FAX 0294-22-5088

E-Mail kigyo-somu@city.hitachi.lg.jp